

<夏季補習について>

7月下旬の5日間、夏季補習を行います。7月は、全学年、英語・数学・国語の基礎教科を中心に実施します。時間割と補習会場については、教室に掲示してあるプリントで確認してください。短い期間の補習授業です。必ず予習と復習を行い、休むことなく受講してください。学習と部活動の両立を実現しましょう。

なお、3年生は、8月下旬に地歴・理科を中心に、夏季特別補習を3日間行います。夏季特別補習では、1講座150分の集中講義形式で実施します。

3年生夏季特別補習も、時間割と補習会場について、教室に掲示してあるプリントで確認してください。いよいよ受験モードに入ります。

<夏を制する者は、受験を制する。>

3年生の生徒の皆さんにとって、この夏は受験の天王山です。不得意科目・苦手分野を克服できる最後のチャンスといっても過言ではありません。学習計画を立て、実行するのは皆さん自身です。特に、基礎教科（英数国）に時間を掛けて取り組むことのできるの、この夏季休業の期間しかありません。

学習方法については、各教科担任のアドバイスをみてください。

★ 1, 2年の授業内容が大切！（入試の出題の7割は、現在学んでいる内容から出題！）

国語（1・2年）

◆古文単語の暗記は二年時までの小テストを活用

（東京大合格：古文）

二年時までに古典の授業で**古文単語**の小テストがあり、その為に古文単語を暗記していました。二十語位だったと思いますが、それを覚えるために何度も目を通し、口に出す。そんな事を毎回繰り返していました。

その御蔭で入試対策になっても、文の大意がわかり、楽でした。また、単語に分けて意味を汲み取る癖をつけておくと、単語の品詞、種類だけでなく、訳をする際にもとても役立ちました。

◆2年次までに句法を完璧にしておくとならぐ。

（早稲田大合格：漢文）

1・2年生の時とはとにかく**文法と単語**を完ペキにした。漢文は白文から書き下し文にする練習だけでなく、書き下し文を見て白文を書く練習もして句法や返り点の打ち方などをがっちり定着させた。古文は単語を一通り覚え、「べし」や「らる」などの助動詞の活用や、何形接続か、意味は何かなどを即答できるまで何度もくり返した。1・2年生の基礎があったお陰で、3年からはスムーズに問題演習に移れ、他の人より早いスタートを切れた。

（↑ 大学合格者のコメントです）

数学（1・2年）

◆予習をして授業に臨む。復習は類題を練習。

（京都大合格）

予習をして授業に臨む。問題文を読んでおく事はもちろん時間が許す限りある程度の時間をかけて考える練習をしておく。すると授業で解法を聞いた時の喜びが大きく頭に入りやすい。復習はノートの見直しだけでなく**類題を解いて練習**する事は大事だと思う。

3年になるとどうしてもあせって時間をかけて考えず解答を見て次へ進む、というパターンになりがちだったから心の余裕がある1・2年に、ゆっくり考えて思考力を養う訓練をしておいて本当に良かったと感じた。

◆習ったその日のうちに、その分野の基本問題を解く。

（国立薬学系合格）

私は、2年の頃から受験を意識して、普段の授業の予習復習に力を入れていました。数学は特に、積み重ねが大切なので日々の復習は欠かせないと思います。私の場合は、**授業のあったその日のうちに、習った分野の基本的な問題を1日5〜10問**ほど解いていました。無理せず少しずつやればいだけです。

この方法だと、目には見えなくても驚くほど効果があります。テスト前も少し応用問題を解くだけで十分力を発揮できるようになっていました。

◆高校の教科書が範囲となる試験

特に国数英は、1, 2年の教科書範囲から出題される。

⇒ 1, 2年生の生徒は、現在、習っている内容が正に試験で問われる。教科書・授業から、ほぼ出題される

◆大学受験は、5教科の総合力が問われる試験

⇒ 国立大学の7割以上は、5教科受験を課している。科目を絞らず、5教科を諦めないことが重要。

～ コラム1 夏の過ごし方 ～

夏の過ごし方は、3年生ばかりがクローズアップされがちですが、1, 2年生の皆さんにとっても大切です。少なくとも、授業がある日以上自分の時間が確保されると思います。貴重な時間を何に使うか、どう使うかを考えることが次へのステップになります。

7月までの学習の遅れを取り戻す、苦手教科を何とかする、得意教科を伸ばす、模擬試験問題をもう一度やってみる、休み明けの生活のために知識を増やす等々、宿題以外のことが思い切りできるチャンスです。

高校生活は、当然ながら勉強だけではありません。しかし、学校が始まると授業や小テストにおわれ、やりたいことも100%楽しめない場合もあります。そうならないためにも、そして志望校合格に一步でも近づくためにも、この夏の使い方を考えてみてください。

～ コラム2 学習方法を工夫しよう！ ～

皆さんの会話で、「今日、小テスト4つもある～泣」「あした小テストが3つあるんで無理です…」をよく聞くことがあります。気持ちはとてもよく分かります。しかし、小テストが抜き打ちの場合を除いて、多くは予告されているはず！その日に4つあることを事前に確認し、覚悟を決め、そのために逆算して学習する…これが勉強というものではないでしょうか。特に定期考査は、一夜漬けが通用しない世界だと実感したのではないのでしょうか？受験であればなおさらです。

事前に計画を立てて、小テストが1日に5つも6つもあっても動じない…結果でズバッとモノを言う、これも開拓者の気魄ではないかと思えますよ。

< 学びたいことを探してみよう >

※ 先月に引き続いての案内です。

意欲的に学び続けるためには、目標や夢をもつことが必要です。面談等で皆さんの話を聞いてみると、勉強する理由で、「行きたい大学がある」「やりたい仕事がある」「こんな大人になりたい」が明確に語る事ができる生徒が少ないように感じます。時間を見つけて、今一度自分自身を見直してみてください。例えば、↓のようなサイトがあります。参考にしてください。

志望校合格に向けて

みらいぶっく

検索



自分を見つめなおす方法は、進路情報以外からでも得られます。テレビ・映画・本（漫画含む）など、自分が好んで見ているものがヒントになる場合もあります。